

3D 関西だより

No. 3 2010.7.15

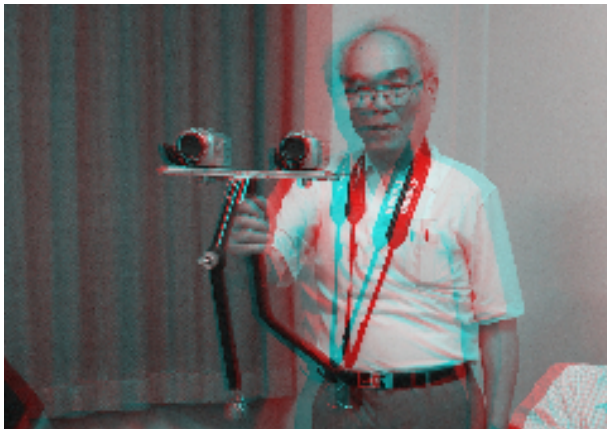
例会を開きました

7月5日(日)に、高槻今城塚公民館で例会を開きました。出席者は14名、ゲストが2名でした。ゲストの藤沢夫妻は、岐阜県の祭りの会場で中村さんに誘われて、見学に来られたとのことで、ご自身もアナグリフのプリントなどを作っておられる3D愛好者です。

例会で作品を発表されたのは、次の8名の方です。

川越さん 大垣祭(静止画とムービー)
森(弘)さん 長谷寺・薬師寺・矢田寺
松原さん 京都岡崎・蹴上の桜
太田さん 雪景色
六田さん しだれ桜(ムービー)
井上さん チョウの接写・シェーンブルン宮殿
(ムービー)
大林さん パリ風景・モデル
中村さん 花火(ムービー)

以上の作品の抜粋は、3D関西のホームページにのせられていますので、ご覧ください。



六田さんがムービー撮影のために自作されたスタビライザー

上映環境の改善について

例会の上映に使っているプロジェクターの劣化が目立ってきました。上映時間が長くなると、色調が変わってきます。新緑の緑色が秋の黄葉のようになってしまいます。それで、早急に新しいプロジェクターを購入しなければなりません。

上映環境改善のための委員会を臨時に立ち上げて検討した結果、

- ① もう少し明るいプロジェクターを購入する。
- ② スクリーンを大きくする。
- ③ 部屋をもっと暗くする。

の3点を改善する必要があるということになりました。

①のプロジェクターについては、エイサーのH5360(1台6万円ぐらい)が候補にあがっています。

これはアクティブ使用すると、1台で液晶シャッター眼鏡を通して立体視ができる機種ですが、液晶シャッター

眼鏡はまだ高いので、会員の数だけそろえることができません。それで2台をパッシブ使用して、従来どおり偏光めがねで立体視する方式を考えています。

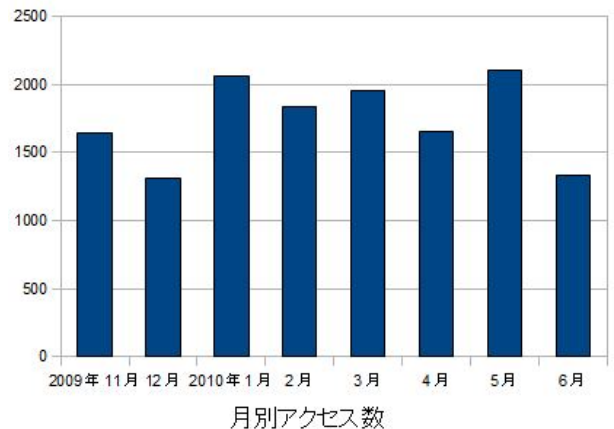
②のスクリーンについては、阪東さんが1.8mx1.8mのものを提供してくれましたので、当分はそれを使わせていただくことにしました。

③については、窓の少ない部屋を予約し、窓に黒いビニル膜をはりつけることで解決を図ります。

プロジェクター2台購入の資金については、学研の図鑑への写真掲載料や大東の3D体験講座の講師料などから10万円ぐらいがあてられるので、あと3万円ぐらいが不足ということになります。これについては、次の例会で皆さんにご相談申し上げますが、またまた会費の値上げをお願いしなければならないかもしれません。

3D 関西ホームページへのアクセス状況

3D関西のホームページを開設して8ヶ月あまり経過しましたが、アクセス数を月別に見ると、グラフのようになっています。



月平均1700アクセス程度ですが、6月は落ち込んでいます。6月のアクセス状況を見ると、93%は日本国内からのアクセスと思われませんが、最近ではブラウザで各国語に自動翻訳が可能のため、英語表示が3%、中国語表示が1%など、海外からもアクセスがあると考えられます。

時間帯では、20時、21時を中心とした夜間のアクセスが多く、次いで15時、16時台の午後のアクセスが多くなっています。見る内容は、やはり会員の作品ページが多いようです。

見ているモニター別では、横幅で、1280が44%、1024が14%、1920が18%です。会員のモニターもフルハイビジョン対応のものが増えてきましたが、まだまだ小型のものも多いので、それに対応できるようにしておいたほうがよいようです。

ISU CODE 6

ISU CODE 6 にエントリーする作品を募集します。1人1点で、締め切りは8月末です。前回に指摘された安全基準をしっかりとってください。世界中の人が待っています。傑作をものしてください。